

各関係機関団体の長
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和2年度病虫害発生予察技術情報第2号について (送付)

このことについて、病虫害発生予察技術情報第2号(イチゴの炭疽病潜在感染状況)を発表したので送付します。

技術情報第2号

- 1 対象作物名: イチゴ
- 2 病虫害名: 炭疽病
- 3 これまでの発生状況

7月2半旬に県下9か所の育苗床の苗から複葉を採取し、エタノール浸漬法による炭疽病の潜在感染株調査を行った結果、潜在感染株率は平年より低かったものの、潜在感染株確認は場率は平年・前年より高くなった。(※調査は、1カ所20株、1株当たり下位葉1枚を採取)

- ・潜在感染株率 25.1% (平年 36.5%、前年 19.2%)
- ・潜在感染株確認は場率 100.0% (平年 87.9%、前年 75.0%)

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本病は主に雨媒伝染で感染が拡大する。7月は降雨が多かったため、ほ場をこまめに見回り発病株が新たに発生していないか確認後、発病株や周辺株を速やかに除去・処分し、発病の拡大防止に努める。
- (2) 育苗床の湿度が高いと発病しやすいため、苗の間隔を空け風通しを良くする。
- (3) 窒素肥料を多用すると発病しやすいため、適正な肥培管理に努める。
- (4) 発病後に治療できる薬剤はないことから、感染を防ぐため、定期的な予防散布を徹底する。なお、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション防除を行う。
- (5) 低温処理時の注意事項
 - ア 夜冷短日処理や低温暗黒処理を行う場合は、苗へのストレスがかかり発病を助長するので、入庫前に生育状況を確認し、健全苗を選抜する。
 - イ 入庫する際は、加湿を避けるため、苗を詰めすぎないように注意する。
 - ウ 入庫前や陽光処理時のかん水は、過度にならないように注意する。



写真1 炭疽病による葉の汚斑



写真2 炭疽病による葉柄の褐変

福岡県病虫害防除所ではQRコードを作成しています。携帯電話のQRコードリーダーでスキャンして頂くと、病虫害防除所ホームページに簡単にアクセスできますので、御利用下さい。

